



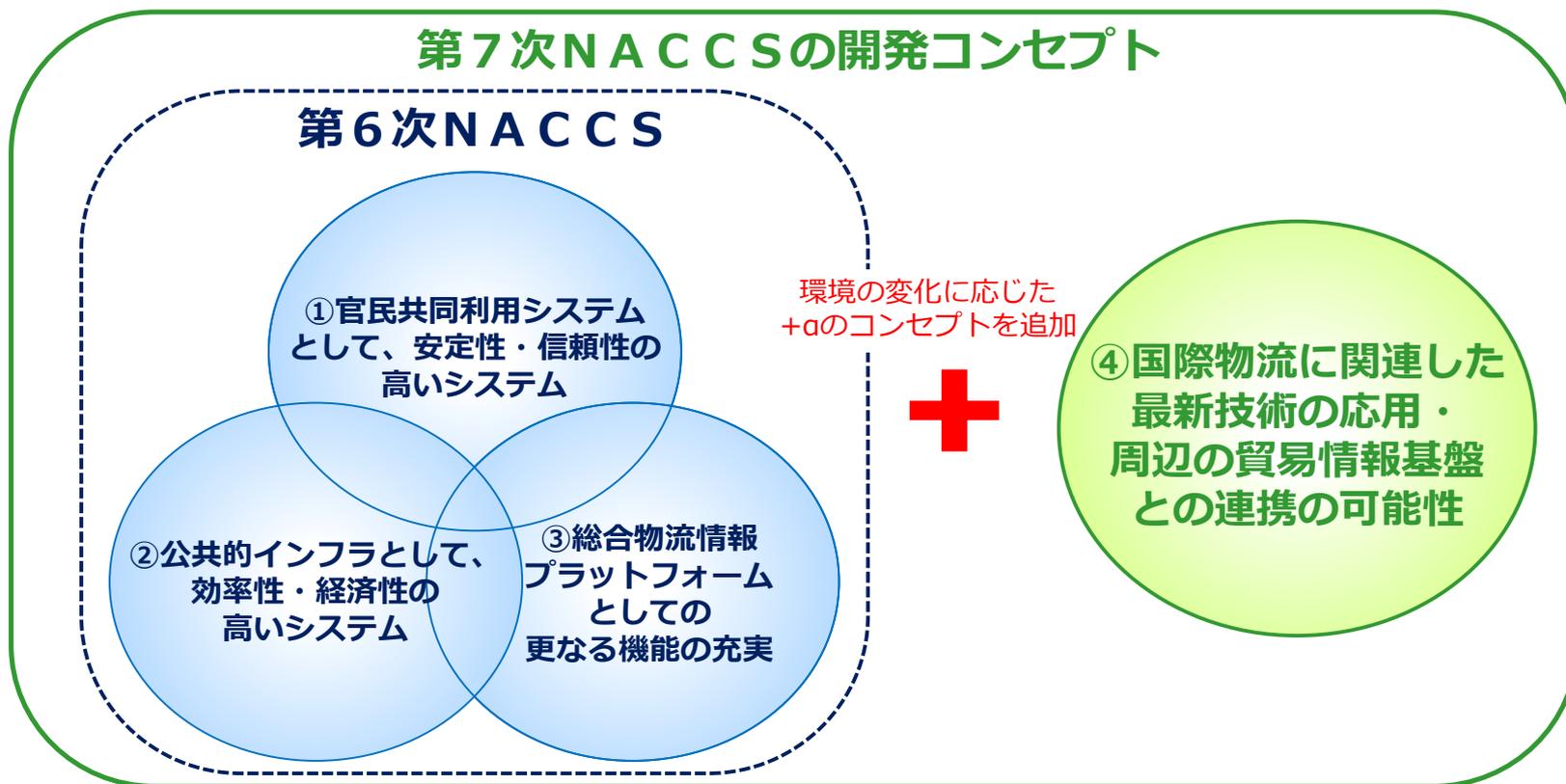
第 1 回更改専門部会の結果報告

2019年8月8日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 第7次NACCS開発コンセプト（1）

- ☑ NACCSは行政・貿易手続業務の遂行に必要不可欠な「ミッションクリティカル・システム」
- ☑ 安定稼働の確保のための信頼性・可用性・保守性の向上
- ☑ 経済性（コストの低減、効率的で簡素）と利便性（機能の拡張）の両観点を踏まえた検討
- ☑ グローバルサプライチェーンの進展に伴ったシステムの進化
- ☑ 利用者の影響を考慮した最新技術の応用への取り組み
- ☑ 各種貿易情報連携基盤構築に関する動向の注視とシステム連携の可能性の精査



※ 中期経営計画（2018年度～2020年度）に沿って、第6次NACCSの開発に当たり掲げた3つのコンセプト（①～③）を引き続き追求するとともに、④のコンセプトを加え、「安定性」と「先端性」のバランスを図りながら開発を進めていきます。

1. 第7次NACCS開発コンセプト（2）

官民共同利用システム
として、安定性・信頼性の
高いシステム

NACCSが国際物流において必要不可欠な官民共同利用の基幹システムであることを踏まえ、第7次NACCSにおいても、安定性・信頼性の高いシステムの実現を図ります。

- システムの安定性・信頼性を確保するシステム更改の実現(更改の時期、業務機能等)
- 強固な情報セキュリティ対策の実現に向けたシステム構築の検討
- 大規模災害時及び大規模障害時におけるバックアップ機能の更なる見直し

公共的インフラとして、
効率性・経済性の
高いシステム

NACCSは官民共同システムとしての公共的インフラであることを踏まえ、第7次NACCSにおいても、効率性・経済性の高いシステムの実現を図ります。

- システムの効率性・経済性を確保するシステム構成の見直し
- システム開発コストの低減化の検討
- サーバの仮想化、クラウド化によるリソースの有効活用の検討

総合物流情報
プラットフォーム
としての
更なる機能の充実

我が国の産業・港湾の競争力の維持・強化、グローバルサプライチェーンの進展を踏まえ、第7次NACCSにおいても、総合物流情報プラットフォームとしての機能の充実を図ります。

- 更なる利便性の向上を目指したプログラム変更、新規業務の検討
- インターネット経由による新たな自社システム接続方式の検討
- 様々なユースシーンに柔軟に応えるタブレット端末等によるNACCS利用の検討

国際物流に関連した
最新技術の応用・
周辺の貿易情報基盤
との連携の可能性

IT最新技術を用いたユーザビリティの改善、周辺の貿易情報基盤との円滑な連携を視野に入れ、利用者の利便性の向上を図ります。

- 最新技術の実用性の検討
- 官民で検討されている各種デジタルプラットフォーム（貿易情報基盤）との連携の可能性の検討
- 国際連携機能の更なる拡大の検討

更改専門部会の目的：次期システムの基本仕様を検討し、2019年度中に決定する

基本仕様の検討に当たって、

- ① 国際物流を取り巻く環境の変化等を考慮して情報処理運営協議会（本年3月）で承認された開発コンセプト
- ② 現行システムの評価・要望を踏まえた「利用者ニーズ」への対応
- ③ 新規事業への取り組み

により、国際物流とその関係者の利便性に寄与するシステムをめざす

基本仕様検討のイメージ

➡ 開発コンセプト＝次期システムのあり方

➡ 現行システムの評価＝ヒアリング結果の分析

➡ 現行システムの改善要望

➡ 新規業務への取り組み

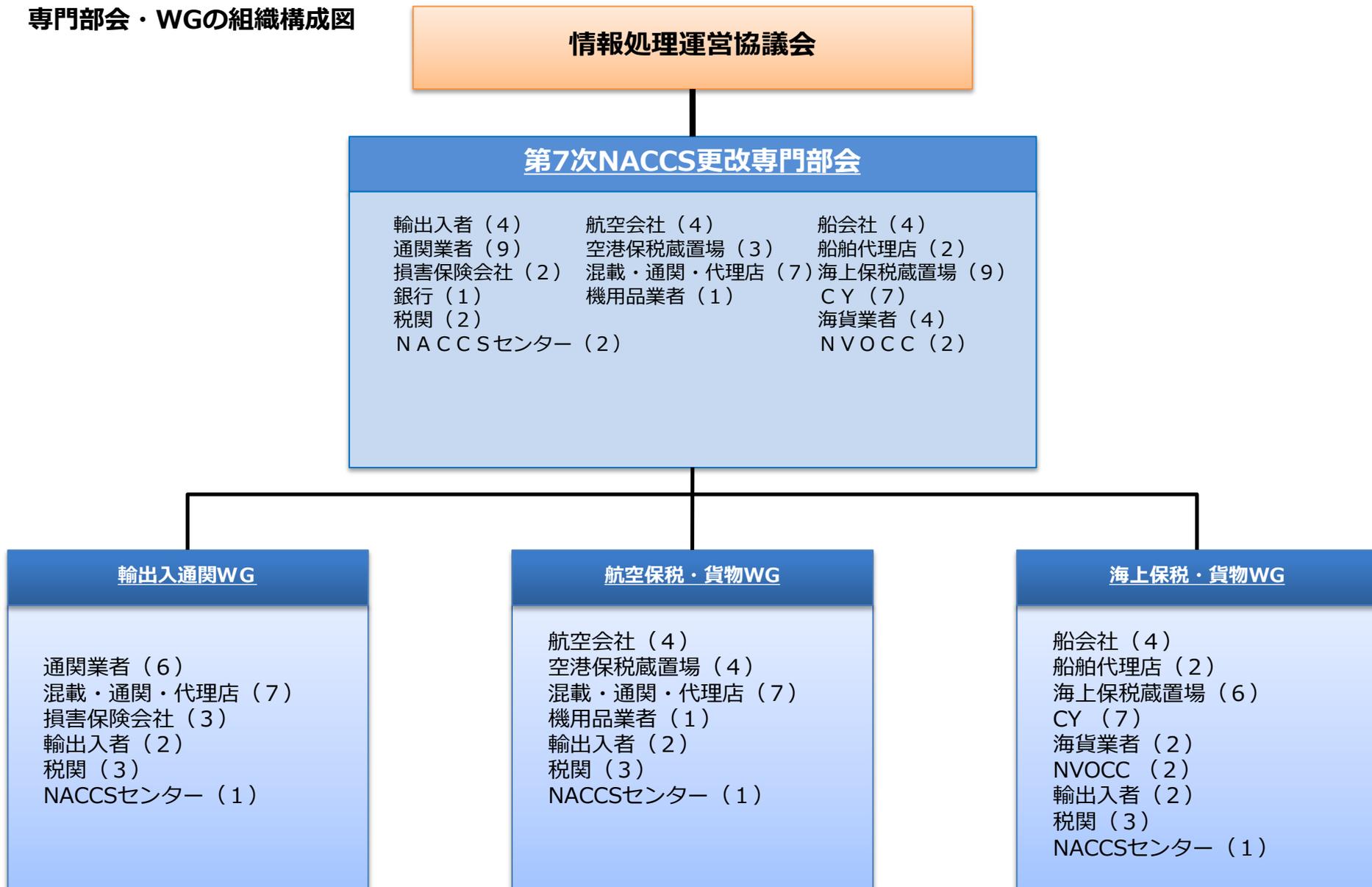
更改専門部会における主な検討事項

具体案をWGで検討

次期システム基本仕様

3. 更改専門部会・WGの組織構成図

専門部会・WGの組織構成図



() 書きは委員数

4. 第7次NACCS開発スケジュール

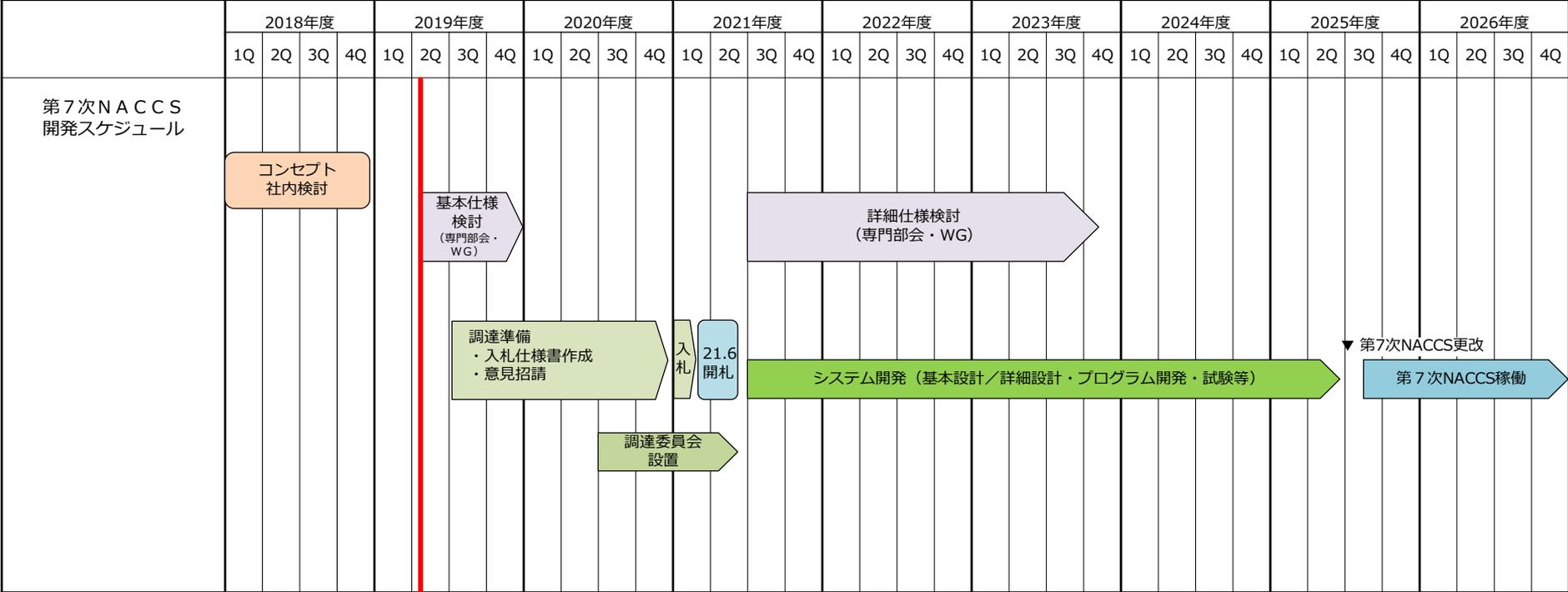
(1) 更改時期

第7次NACCSの更改時期は、NACCSのハードウェアの保守期限等の諸要件を考慮し、2025年10月予定とします。

(2) ライフサイクル

第7次NACCSのライフサイクルは、利用者システムへの影響等を考慮し、これまでと同様に8年間とします。
 なお、中間年（4年目）での見直しも検討します。

(3) 更改スケジュール



5. WGにおける個別検討事項（1）

WGでは、コンセプトを具体化した以下の項目について検討します。

区分	個別検討・説明事項	検討内容等	輸出入通関WG	航空保税等WG	海上保税等WG
業務 (共通)	1. 業務仕様の考え方	基幹業務及び基本業務仕様については、必要に応じて変更点の確認を行っていくこととし、現行仕様を踏まえて検討する。	○	○	○
	2. オンライン業務の統廃合	現在提供しているオンライン業務について、廃止・統合可能な業務について検討する。	○	○	○
	3. WebNACCS対象業務の拡大	現在WebNACCSにて提供している業務の拡大について検討する。	○	○	○
	4. システム対象業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム変更要望のうち、更改等のタイミングで検討する必要がある案件について整理・検討する。 ・新規業務等の必要性について検討する。 ・汎用申請業務から個別業務への変更の必要性について検討する。 	○	○	○
	5. 貨物状況通知サービスの提供	事前に登録した対象貨物の状況変更時に、NACCS端末やモバイル端末に情報通知する新規業務機能について検討する。	○	○	○
	6. システム制限値	システム制限値の見直しの必要性等について検討する。	○	○	○
	7. 管理統計資料の見直し	管理統計資料の機能拡張や新規管理資料の追加要望について検討する。	○	○	○
(通関)	8. 添付ファイル業務の見直し	現在の添付ファイル業務の制限値等の見直しについて検討する。	○		
(海上)	9. 輸出コンテナ総重量証明（VGM）対応	輸出コンテナ総重量証明（VGM）対応について実施の要否を検討する。			○

5. WGにおける個別検討事項（2）

区分	個別検討・説明事項	検討内容等	輸出入通関WG	航空保税等WG	海上保税等WG
方式EDI等	1. インターネット経由の新たな自社システム接続方式	ebMS処理方式に代わるインターネット経由の自社システム接続としてnetNACCSの接続仕様の公開を検討する。	○	○	○
	2. メール処理方式の廃止	将来的な接続処理方式の集約およびパッケージソフトの開発コスト削減等のシステム資源の効率化を図るため、メール処理方式の廃止について検討する。	○	○	○
	3. モバイル端末への対応	モバイル端末での業務が可能となるよう業務範囲・接続方法等を検討する。	○	○	○
	4. ユーザーインターフェースの改善	パッケージソフトおよびWebNACCSのユーザーインターフェースの機能見直し等について検討する。	○	○	○
	5. システムの安定稼働について	官民共同利用システムとして、第7次NACCSにおいても、高いシステム稼働率等を維持するための安定稼働について検討する。	○	○	○
	6. 定期保守の見直し	定期保守について曜日、時間帯、回数等の見直しの必要性について検討する。	○	○	○
	7. バックアップセンター機能	バックアップセンターを設置する目的の明確化（大規模障害・災害時以外の利用について検討する）、切替時の更なる簡素化について検討する。	○	○	○
	8. デジタル証明書の見直し	netNACCSおよびWebNACCSにて利用しているデジタル証明書における課題を整理し、認証方法について見直しを検討する。	○	○	○
	9. EDIFACTのバージョンアップ対応	現在EDIFACTのバージョンを1998年策定仕様を利用しているため、最新に近いバージョンへの対応を検討する。			○
	10. EXC(非同期)対象電文の見直し	非同期電文であるEXC型電文の内、申告入力端末へ出力するEXZ型電文に変更可能な電文を検討する。	○	○	○

5. WGにおける個別検討事項（3）

区分	個別検討・説明事項	検討内容等	輸出入通関WG	航空保税等WG	海上保税等WG
その他	1. 最新技術の実用性	第7次NACCSにおける最新技術の実用性について検討する。	○	○	○
	2. 国際連携機能と各種デジタルプラットフォーム連携について	NACCSで対応が求められる国際連携機能のニーズの確認を行う。また、各種デジタルプラットフォームとの連携の可能性について検討する。	○	○	○
移行	1. 移行の考え方	システム更改時における移行方法の基本的な考え方について検討する。	○	○	○

6. 専門部会等の開催日程と進め方

専門部会			W G		
2019年 8月8日	第1回第7次NACCS 更改専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長選出 ・ 次期システムの更改について ・ 専門部会における主な検討事項 ・ 専門部会の運営、スケジュール 	2019年 8月8日	第1回WG(合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・ WGの運営、スケジュール ・ WGにおける検討事項 ・ 基本業務フローの確認 ・ 方式・EDI仕様の検討
			2019年 9月12日 (予定)	第2回WG(合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方式・EDI仕様の検討 ・ 個別業務等の検討
			2019年 10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回輸出入通関WG ・ 第3回航空保税・貨物WG ・ 第3回海上保税・貨物WG 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別業務等の検討
			2019年 11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回輸出入通関WG ・ 第4回航空保税・貨物WG ・ 第4回海上保税・貨物WG 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別業務等の検討 ・ システムの安定性の検討 ・ 更改時の移行方法について
			2019年 12月上旬	第5回WG(合同)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務基本仕様書のとりまとめ ・ EDI基本仕様のとりまとめ
2020年 1月中旬	第2回第7次NACCS 更改専門部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ WGにおける検討結果の報告 ・ 基本仕様(業務・EDI)の提案 ・ 今後のスケジュール 			

WGにおいて、11月までに個別検討事項について検討・整理を行い、12月に基本仕様（案）としてのとりまとめを実施する。
WGにおいてとりまとめた基本仕様（案）について、2020年1月に開催する第2回更改専門部会において報告を行うこととする。